

愛媛果試ニュース

No.25 平成 20 年1月

みかん研究所本格始動！！



平成 19 年 2 月完成の本館



本館前の記念碑「新輝柑郷」



みかん研究所全景



新規に造成した育種用圃場



リーフサイトメーターを使って植物の倍数性を検定



光センサーを使って果実内成分を非破壊で測定

みかん研究所は、果樹試験場南予分場を再編整備することにより、本県の温州ミカンをはじめとしたかんきつ類に関する育種・栽培研究機能を集約し、市場で有力な新品種や栽培技術を開発することにより、愛媛県のかんきつ農業全体に「元気を興す」中核施設となることを目的に整備されました。

「地域ブランドを創出できる新品種の育成」と「南予地域の暖地急傾斜園に適する新しい栽培技術の確立」を柱に、消費者ニーズを満たし、し烈化する産地間競争に勝ち残り得る高品質な果実を低コストで生産していく体制構築のため、より高付加価値品質をもつ品種の開発や、省力・低コストで高い生産力を実現する技術を確立します。